

研究成果の刊行に関する一覧

研究成果の刊行に関する一覧表

1. 論文発表

N Iritani, A Kaida, N Abe, H Kubo, J Sekiguchi, SP Yamamoto, K Goto, T Tanaka, M Noda: Detection and genetic characterization of human enteric viruses in oyster-associated gastroenteritis outbreaks during 2001-2012 in Osaka City, Japan, Journal of Medical Virology 86, 2019-2025 (2014)

三好龍也 内野清子 岡山文香 芝田有理 吉田永祥 小林和夫 左近直美 土生川洋 田中智之 野田 衛: 臨床検体および下水検体を用いた堺市内の A 型肝炎の流行解析, 病原微生物検出情報, 36, 6-7 (2015)

三好龍也 内野清子: 下水中ノロウイルス検出情報と流行解析, 臨床とウイルス, 42:237-241, 2014

山元誠司, 入谷展弘, 改田 厚, 久保英幸, 長谷 篤, 藤森良子, 森 宏美, 伯井紀隆, 辻本光広, 半羽宏之: 大阪市におけるロタウイルス感染症集団事例発生状況と流行株の特徴 (2009~2013 年), 病原微生物検出情報 月報 35(No.409), 67-68 (2014)

上間 匡, 野田 衛: 食事・食品管理の具体的手法-患者・スタッフ・委託業者への啓発, 感染対策 ICT ジャーナル, 34(320-327) (2014)

入谷展弘 山元誠司 改田 厚 阿部仁一郎 久保英幸 西尾孝之 伯井紀隆 大平真由 安井典子 榊田晴美 細井舞子 松本珠実 坂本徳裕 廣川秀徹 半羽宏之 野田 衛: 2014 年 9~11 月に発生したノロウイルスによる胃腸炎集団事例について—大阪市, 病原微生物検出情報, 12/26 (2014)

入谷展弘, 山元誠司, 改田 厚, 阿部仁一郎, 久保英幸, 西尾孝之, 伯井紀隆, 大平真由, 安井典子, 榊田晴美, 細井舞子, 松本珠実, 坂本徳裕, 廣川秀徹, 半羽宏之, 野田 衛: 2014 年 9~11 月に発生したノロウイルスによる胃腸炎集団事例について—大阪市, 病原微生物検出情報 月報 2014/12/26 掲載 (インターネット版)

中根邦彦, 小林慎一: 岡崎市におけるノロウイルス遺伝子型の 6 年間の特徴—2007

年 4 月～2013 年 3 月一, 感染症学雑誌 88(6): 875-877 (2014)

野田 衛: ノロウイルス食中毒対策-調理従事者からの食品汚染はなぜ起こるのか?- , 月刊「食と健康」平成 26 年 4 月号(日本食品衛生協会), 8-20 (2014)

野田 衛: ノロウイルス対策-予防と汚染時の対処法-, 月刊「食と健康」平成 26 年 10 月号(日本食品衛生協会), 8-19 (2014)

2. 学会発表

Hiroyuki Saito, Tomoyuki Tanaka, Miho Toho, Mamoru Noda⁴, Tomoichiro Oka and Kazuhiko Katayama: Noroviruses RNA detection in contaminated foods by a PANtrap method, The 2nd. AFSA Conference on Food Safety and Security, 2014, Bien Hoa City, Vietnam.

佐藤裕徳, 横山勝, 本村和嗣, 中村浩美, 田村務, 吉澄志磨, 岡智一郎, 片山和彦, 武田直和, 野田衛, 田中智之, Norovirus Surveillance Group of Japan: ヒト集団におけるノロウイルス流行株の多様性と進化, 第 62 回日本ウイルス学会学術集会, 横浜市, 11/11 (2014)

斎藤 博之, 秋野 和華子, 田中 智之, 野田 衛: 食中毒事例における食品のサポウイルス検査にパンソルビン・トラップ法を用いる際の RNA 検出系の最適化, 第 108 回日本食品衛生学会, 金沢市, 12/5 (2014)

斎藤博之, 秋野和華子, 田中智之, 野田 衛: 食品検体のノロウイルス検査にパンソルビン・トラップ法を用いる際の捕捉抗体供給源に関する検討, 第 35 回日本食品微生物学会学術総会, 堺市, 9/19 (2014)

斎藤博之, 秋野和華子, 田中智之, 野田衛: パンソルビン・トラップ法における捕捉抗体としての工業用ガンマグロブリンの有用性の検証, 第 62 回日本ウイルス学会学術集会, 横浜市, 11/10 (2014)

斎藤博之, 秋野和華子, 田中智之, 野田衛: 食品のノロウイルス汚染を検出するパンソルビン・トラップ法の開発, あきた産学官連携

三元 昌美, 上間 匡, 堀内 百恵, 野田 衛: 感染性推定遺伝子検査法を用いたノロ

ウイルスの加熱不活化における生存性の推定, 第 108 回日本食品衛生学会, 金沢市, 12/5 (2014)

三元昌美, 上間 匡, 野田 衛: 市販洗剤添加エタノールのネコカリシウイルスに対する不活化効果, 第 36 回日本食品微生物学会学術総会, 堺市, 9/18 (2014)

三好龍也, 内野清子, 岡山文香, 芝田有理, 左近直美, 田中智之, 野田衛, 小林和夫: 堺市内における下水サンプルを用いた A 型肝炎ウイルスの流行解析, 第 62 回日本ウイルス学会学術集会, 横浜市, 11/10 (2014)

山元誠司, 改田 厚, 久保英幸, 入谷展弘: ユニークな G3 型 VP7 遺伝子を有するロタウイルス DS-1 様 G3P[8]株の遺伝子解析, 第 62 回日本ウイルス学会, 横浜 (2014.11.10-12)

山元誠司, 入谷展弘, 改田 厚, 久保英幸, 西尾孝之: 大阪市におけるロタウイルス遺伝子構成の変遷: Wa から DS-1, 平成 26 年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部ウイルス部会総会, 神戸 (2014.10.3)

山本美和子, 伊藤文明, 野田衛: 広島市で検出された A 型肝炎ウイルスの分子疫学的解析, 第 62 回日本ウイルス学会学術集会, 横浜市, 11/10 (2014)

宗村佳子, 森功次, 永野美由紀, 木本佳那, 林志直, 甲斐明美: 東京都内の小児施設におけるノロウイルス検出状況(2013/14). 平成 26 年度地方衛生研究所全国協議会第 29 回関東甲信越静岡ウイルス研究部会

秋野和華子, 斎藤博之, 田中智之, 野田 衛: 食品検体からのパンソルビン・トラップ法によりノロウイルス RNA を抽出する際の α -Amylase 処理に関する検討, 第 35 回日本食品微生物学会学術総会, 堺市, 9/18 (2014)

照山 晏菜, 三元 昌美, 上間 匡, 野田 衛: 感染性推定遺伝子検査法を用いたノロウイルスの加熱不活化における生存性の推定, 第 108 回日本食品衛生学会, 金沢市, 12/5 (2014)

上間 匡, 野田 衛, 春名美香, 佐々木貴正: カキおよびムラサキイガイから検出されたノロウイルス遺伝子の次世代シーケンサーによる比較解析, 第 36 回日本食品微生物学会学術総会, 堺市, 9/18 (2014)

上間匡, 三元昌美, 青沼えり, 栞原慶隆, 照山晏菜, 堀内百恵, 溝口嘉範, 高橋肇, 木村 凡, 野田 衛: ノロウイルスの代替ウイルスとしてのネコカリシウイルスの評価, 第 108 回日本食品衛生学会, 金沢市, 12/5 (2014)

上間匡, 野田衛, 春名美香, 佐々木貴正: 二枚貝から検出されたノロウイルス遺伝子産物の網羅的解析, 第 62 回日本ウイルス学会学術集会, 横浜市, 11/10 (2014)

森功次ほか: ウイルス性胃腸炎検査における SPIA (Single Primer Isothermal Amplification) 法導入に関する検討. 第 35 回日本食品微生物学会学術総会, 2014, 堺市

中根邦彦, 小林慎一: 岡崎市におけるノロウイルス遺伝子型の 6 年間の特徴—2007 年 4 月～2013 年 3 月—, 感染症学雑誌 88(6): 875-877 (2014)

入谷展弘, 山元誠司, 改田 厚, 久保英幸, 野田 衛: 2013/14 シーズンに大阪市において集団胃腸炎事例から検出されたノロウイルス GII.6 株の分子疫学的解析, 第 62 回日本ウイルス学会, 横浜 (2014.11.10-12)

入谷展弘, 山元誠司, 改田厚, 阿部仁一郎, 久保英幸, 野田衛: 2013 14 シーズンに大阪市において集団胃腸炎事例から検出されたノロウイルス GII.6 株の分子疫学的解析, 第 62 回日本ウイルス学会学術集会, 横浜市, 11/10 (2014)

野田 衛, 上間 匡, 三元昌美, 山下育孝, 青木里美, 小林慎一, 斎藤博之: パンソルビンを用いた抗体被覆/非被覆ウイルス粒子鑑別法の開発と応用, 第 36 回日本食品微生物学会学術総会, 堺市, 9/18 (2014)

